

『みんなの笑顔のために』

ゴールに向かって

新しい年を迎え、令和5年度も終わりが近づいています。
冬休み前集会で子どもたちに次のような話をしました。



後期も半分が終わりましたが、後期の始業式のときにどんな話をしたか覚えていますか？

このバスのお話をしました。このきくすい号のバスの運転手は皆さんです。

バスを運転するとき考えなければいけないことは何だったでしょう？

そう 目的地（ゴール）を確認することです。

例えば、6年生のゴールは卒業、他の学年も次の学年にあがるのがゴールという話をしました。

ゴールまで、もうあと3か月しかありません。その準備はできましたか。

お正月がきて新しい年を迎えます。「一年の計は元旦にあり」ということわざを知っていますか。

「一年のことは年の初めの元旦に計画を立てて行うべきである。物事は初めが大事、年のはじめにしっかりした計画を立てて着実に実行しましょう」という意味だそうです。

お正月は、気持ちを新たに何か新しい目標を考えるよい機会だと思います。

みなさんも、ゴールに向けて何か目標を考えてみてください。小さい目標でいいから、着実に実行できる目標を考えてみましょう。

先日、野球のメジャーリーグのドジャースに移籍が決まった大谷翔平選手も高校生の時に目標を立てて、その実現に向けて努力して夢を叶えた一人ですね。

その目標シートの中には、いろいろなことが書かれていました。中には、「あいさつ」「ゴミ拾い」「部屋のそうじ」「仲間を思いやる心」という目標もありました。そんなに難しい目標ではないですね。あの
大谷翔平選手も「あいさつ」とか「ゴミ拾い」という目標を立てられていたんですね。みんなもできそうですね。

先生がもう一つすごいと思ったことがあります。大谷選手は今年ひじの靭帯の手術をされました。手術をするということは、しばらく野球ができないということですね。ふつうは気持ちが落ち込んでしまうと思いますが、大谷選手は違ったのです。大谷選手はひじの手術を勧められたその日に、2本のホームランを打っているのです。目標に向かって努力できる人は、心も鍛えられるのだと思いました。

また、競泳女子日本代表の池江璃花子選手は、2019年2月に白血病であることを公表しました。競泳のエース的存在であり、日本中に衝撃が走りました。そんな中、池江選手はツイッターで「率直な気持ち」として次のようなメッセージを発信されたそうです。

「私は、神様は乗り越えられない試練は与えない、

自分に乗り越えられない壁はないと思っています。」

たいへんな状況でも自分の心をしっかりと保ち、前を向いて頑張る姿は多くの人に勇気と感動を与えました。どんな状況でも夢や希望を持ち続け、努力する強い精神力に多くの方が勇気づけられました。

皆さんもアスリートのみなさんに負けないように、新しい年、「こんなことを頑張る年にする。」と何か考えてみてください。みんながどんな目標をたてたか教えてくれるのを楽しみに待っています。

(参考文献:「100年後まで残したい日本人のすごい名言」 斎藤孝 アスコム)

昨年の11月22日(水)の「人権の花」終了式で、みんなが育てた花の種を風船につけて飛ばしました。その後、大分県の津久見小学校の先生や、大分市、九重町、臼杵市の方から、種が届きましたとお便りが届きました。みんなの思いが届いた気がしてうれしいですね。

